

## 2012年度 農村計画学 解答

<p>1. 地域計画の構成</p> <p>① 実施計画 ② 基本構想 ③ 基本計画</p> <p>④ 到達すべき目標とその実現のために実施する具体的な手段との間に抽象度の違いと論理的なギャップがあるため</p> <p>⑤: 川貝に ② ③ ①</p>	<p>11. 中山間地域の問題構造</p> <p>① 定住人口の減少 ② 資源管理機能の低下</p> <p>③ 地域農林業の停滞</p>
<p>2. 住民参加の形態</p> <p>① 住民参加のはしご ② パートナースHIP ③ セラピー</p> <p>④ 当事者意識の形成 ⑤ 計画要素の醸成 (地域エゴの防止)</p>	<p>12. 住民主体型計画づくりと企業における小集団活動</p> <p>① 様々なデータを (単語ではなく) 短い文章として表現し        { 言語データを利用すること        { 体系的に整理したり、自分の考えをまとめた時は個人で、チームワークを作りたいたときには集団で行うこと        { 特定のテーマについての意見を発想を出し合うブレインストーミング        { を基本ルールに従いながら行うこと        { 何度もやり直しを行い、とことん議論を行うこと        { (完成度が上がり、参加メンバーのチームワークが強くなる)</p>
<p>3. 地域計画の次元</p> <p>① 集落・旧村 ② 市町村 ③ 広域圏 ④ 10 ⑤ 3~5</p> <p>⑥ 1 ⑦ 住民参加 ⑧ 住民主体 ⑨ 法定計画</p> <p>⑩ 物象計画 ⑪ 土地利用計画 ⑫ 地域活性化計画の領域</p>	<p>⇒ 言語データの利用、個人で行うか集団で行うか        ・ブレインストーミングの活用 ・繰り返しの効用        の4つがあればOK.</p>
<p>4. 農村の変化</p> <p>① 都市化 ② 工業化 ③ 混住化 ④ 過疎化</p>	
<p>5. 集落形態の4類型</p> <p>① 散在集落 ② 散居集落 ③ 集居集落 ④ C</p>	<p>13. 言語データの利用</p> <p>① 事実 ② 意見 ③ 発想</p> <p>④ 批判禁止: 他人の発言に対する批判・反対をしない        ⑤ 自由奔放: 奔放に発想し、自由に発言する        ⑥ 多数歓迎: アイデアは数が多いほど良い        ⑦ 結合改善: 他人のアイデアの結合、改善をねがう。(他人の尻馬に乗る)</p>
<p>6. 限界集落問題</p> <p>① 50 ② 共同生活 ③ 大野晃 ④ 共同体 ⑤ 準限界集落</p> <p>⑥ 人 ⑦ 土地 ⑧ むら ⑨ 誇り</p>	<p>14. 参加型計画手法</p> <p>① 特性要因図法 ② 系統図法 ③ 連関図法</p> <p>④ 親和図法</p>
<p>7. 土地利用計画の実現手段</p> <p>① ゾーニング ② 開発許可制度 ③ 土地基盤整備</p> <p>④ 土地の買い取り ⑤ 土地利用協定</p>	
<p>8. 線引きの役割と実態</p> <p>① 市街化区域 ② 市街化調整区域 ③ 高地価</p> <p>④ 公共施設 (学校、運動公園など)</p>	<p>15</p> <p>①と②が「勘と経験」の右にある白い枠の中        ③と④が「基」と経験」の左にある白い枠の中。</p>
<p>9. 換地手法</p> <p>① 従前地 ② 換地 ③ 換地計画 ④ 換地処分</p>	
<p>10. 換地処分</p> <p>① 区域区分制 ② 異種目換地 ③ 照応</p> <p>④ 地積増減2割未満 ⑤ 特別増考換地</p>	